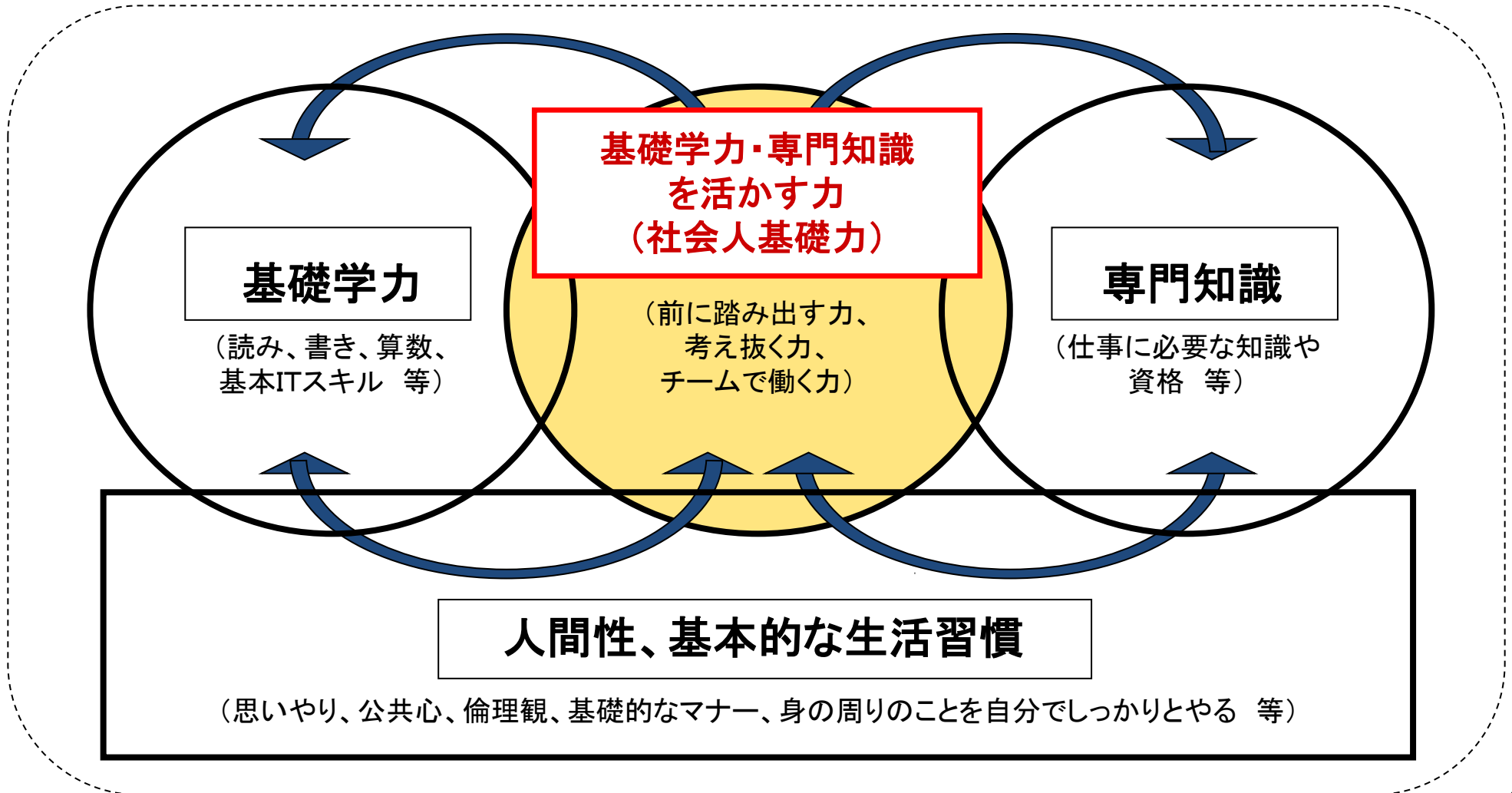


社会人基礎力の普及・促進

今、社会(企業)で求められている力

- 「基礎学力」「専門知識」に加え、今、それらをうまく活用し、「多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力＝社会人基礎力」が求められている。



社会人基礎力とは

(3つの能力/12の要素)

前に踏み出す力(アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力(シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

チームで働く力(チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

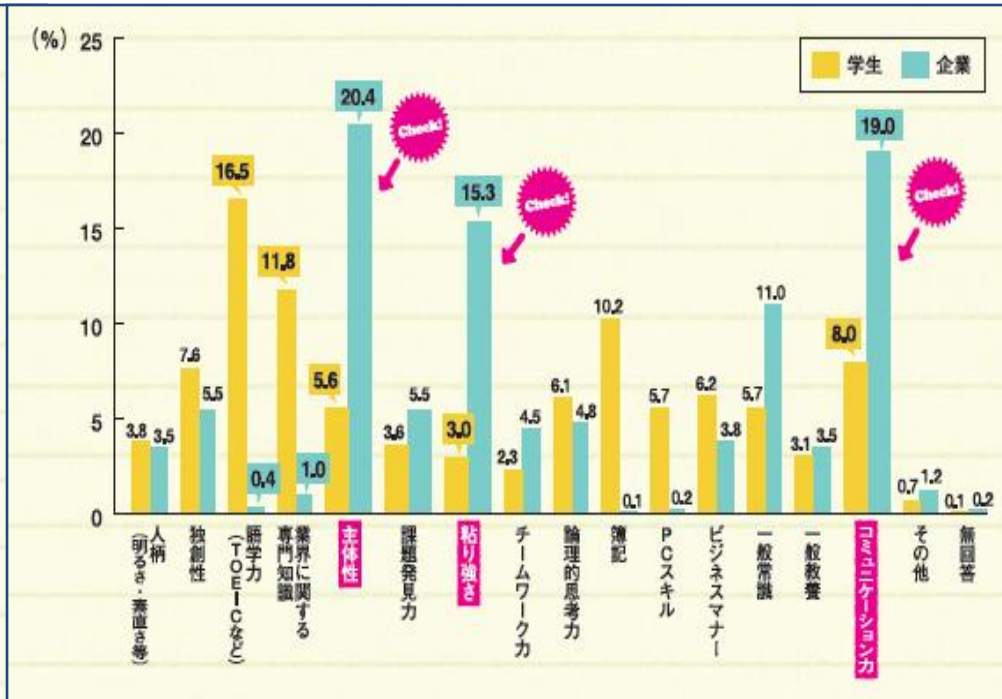
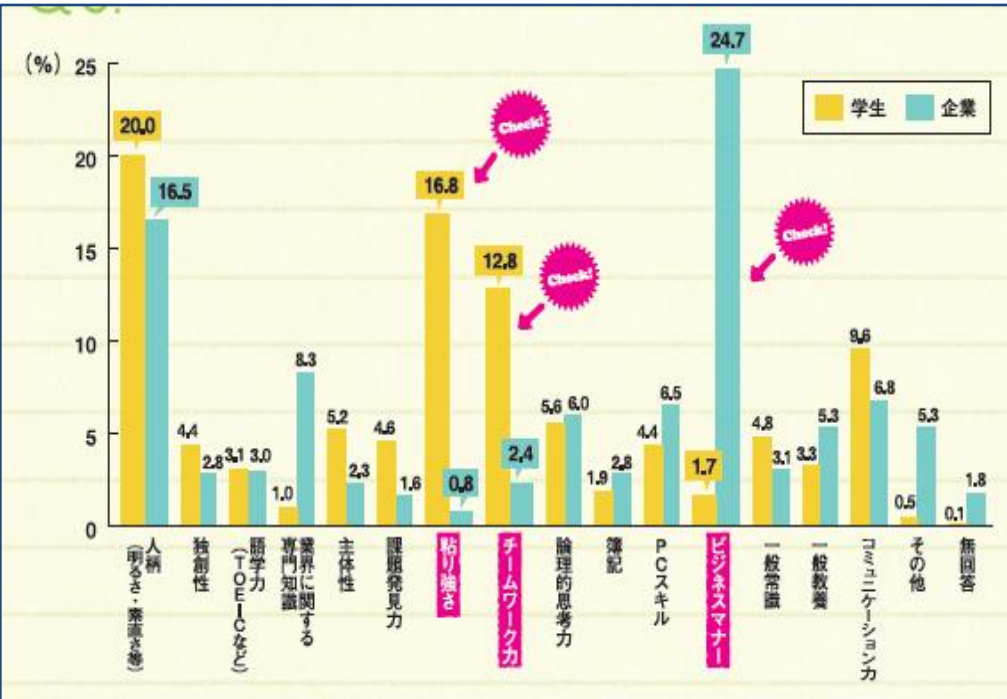
ストレスの発生源に対応する力

企業と学生の意識のギャップ

➤ 「身につけておいてほしい能力水準」に企業と学生で大きな意識の差がある。

Q. 自分が既に身につけていると思う能力は？（対学生）
学生が既に身につけていると思う能力は？（対企業）

Q. 自分に不足していると思う能力は？（対学生）
学生に不足していると思う能力は？（対企業）



(経済産業省「大学生の『社会人観』の把握と『社会人基礎力』の認知度向上実証に関する調査」平成21年)

粘り強さ

チームワーク力

主体性

コミュニケーション力



(学生の認識)
「十分出来ている」
(企業の認識)
「まだまだ足りない」

ビジネスマナー

語学力

業界の専門知識

PCスキル



(学生の認識)
「まだまだ足りない」
(企業の認識)
「出来ている(これから良い)」

社会人基礎力の育成の取組

①社会人基礎力育成・評価モデル事業（H19～21年度）

- 授業・ゼミ・研究室等の大学教育を通して「社会人基礎力」を育成・評価する体系的な教育カリキュラムと、その取り組みを学内に広げる仕組みを構築する**モデル事業**を実施。
- 企業や行政と連携して課題提供を行う「PBL(Project Based Learning)」を導入した**実践型学習**や、ゼミ・一般科目での育成・評価に取り組む。

②社会人基礎力育成・普及事業（H22年度）

- モデル大学で行われている「社会人基礎力」を育成するカリキュラムとその工夫を「**社会人基礎力育成の手引き**」として**書籍化**（一般書店で発売中）。
- モデルカリキュラムを他大学に普及させるためのセミナーを全国7カ所で開催。大学・高校の教職員、企業人事担当者など全国で**約1,000名が参加**。

③「社会人基礎力育成グランプリ」の開催（H19年度～）

- 大学におけるゼミ・研究室・授業等の取り組みを通じた「**社会人基礎力**」**成長の様子とその成果を学生が発表し、グランプリを選定。大賞に経済産業大臣賞を付与（H23年度～）**。
- 学生たちが困難を乗り越え、大きな成長を遂げたエピソードから、効果的な「社会人基礎力」の育成方法や教育的工夫を考える。
- 地域の産学連携の教育を促す大会になっている。予選大会を**全国6カ所で開催**。全国から**88大学（108チーム）が参加**。

社会人基礎力育成グランプリ

- 全国の大学(短大・大学院含む)のゼミ・研究・授業等における「社会人基礎力」の育成・成長の事例とその成果を担当教員 & 学生チームが発表。多数の企業人事担当者、大学・高校教職員、報道関係者ら観覧多数。



学 生

- ・課題解決に向けた**具体的取組・成果**
- ・個人の成長エピソード
(不安・課題・気づき・**成長実感・自信**)
- ・チームの成長エピソード
(役割分担、協力・衝突・**理解・団結**)
- ・今回をきっかけに芽生えた**将来の夢**

審査基準

- ①「前に踏み出す力」がどれだけ成長したか
- ②「考え抜く力」がどれだけ成長したか
- ③「チームで働く力」がどれだけ成長したか
- ④大学で学ぶ一般教養や専門知識をどれだけ深めることができたか

